

個人質問

子どもたちの教育力向上と  
市民の楽しく安全な生活をめざして

誠和会

林 修三



こどもの日フェスタに  
ついて

問

街を歩いていて、公園や道端で遊んでいる子に会うことが稀であり、「青少年健全育成都市宣言のまち」としてはさびしい現象であるが、子どもたちのためのイベントを開催することについての考えを伺う。

市長

地域活性化につながるイベントは、より身近なところで、地域住民、各種団体やボランティア団体などの皆さんの自由な発想からつくり出されることが望ましいものと考えられます。

問

平成24年には市制施行20年を迎えるが、記念事業として「子どもの日フェスタ」の開催を望むが如何か。

総務部長

記念事業をやるか、やらないか等も含めまして、今のところ白紙状態ですが、今後これらについて

検討していく中で、一つの提案ということで受け止めさせていただければと考えます。

問

いざというときの避難について

問

市を挙げての避難訓練の実施や避難経路等の市民への啓発活動について伺う。

市長

市全体で行う防災訓練等の必要性については深く認識しているところですが、市民の皆さんが参加できる訓練としては、各地域単位での訓練が、よりきめ細かい対応が期待できますので、今後これらの要望に応えて関係機関と協議しながら実施してまいりたいと考えます。昨年配布した防災マップや地域避難場所の案内板の掲示、市のホームページで周知を図っているところ

市教育センターについて

問

来年から新学習指導要領が実施され、教科書の内容が約30%増え、授業時間も増えていく。これまでのゆとり教育から学力重視の教育へと方向転換し、その中身も変わっていくようであるが、その中で成果ある学力をつけていくためにはかなりの専門的な評価や分析が求められる。その大きな役割を担うと考えられる市教育センターの設置について伺う。

問

これまで積み重ねてきた成果や課題を十分に踏まえつつ、今後の教育センターの機能のあり方やセンターと学校、教育委員会の三者における役割分担等について十分検討していく中で考えていきたいと考えます。

教育長

※その他の質問  
◆道路の整備促進について  
◆口蹄疫（酪農業等）の危機管理について  
◆八街市の文化財について

個人質問

職員力を活かした街づくりを！

桜田 秀雄



行政問題

問

市職員の現状について伺う。

市長

①現在の職員数は560人で、男性271人、女性289人、居住地別では、市内312人、市外248人です。②通勤態様の内訳は、自家用車474人、公共交通機関32人等です。③職員提案制度の活用状況は、21年度0件です。④庁舎等の清掃業務は6件を委託、契約金額2千286万5千80円です。

町おこし対策

問

市民農園の普及について伺う。

市長

市民農園に関する情報の提供など支援を積極的に行います。

問

健康保持や町おこしになるが如何か。

農政課長

健康増進のためにも、市民農園の開設を検討したいと考えます。

問

「私道舗装半額補助制度」を創設する考えはないか伺う。

現在では考えておりませんが、公共性の高い私道には碎石の支給を行っています。赤道の境界線を確認し、舗装整備を求めると如何か。

市長

地権者と交渉し、同意が得られるよう努力します。

問

中央公民館入口での事故が多く、安全対策が求められるが如何か。

交通安全対策

市長

停止線を標示するなどの